

考えよう。コロナ禍の人権

不安を差別に
つなげちゃいけない。

コロナ対策のつもりが

過剰な反応になっていませんか？

誰もがコロナ禍の不安に包まれています。不安に飲み込まれて自分の言動が差別や偏見につながっていないか、悪意がなくても人権侵害につながることもあります。

思い込みが差別や偏見を生みます。

正しい知識・情報に基づいて行動しましょう。

やめよう！いけんで！

コロナ禍の



偏見

たとえば・・・こんなことがおこりがちです

〇〇さん感染したんだって。
どうせ夜遊びしてて感染した
んじゃないか？

配送業者の子どもは
学校に来ないで。

あなたの奥さん、
病院で働いてるんだよね。
悪いけどしばらく会社に来ない
でくれないか？

あの人、〇〇から通勤して
るんだよ。ウイルス、持って
こないでほしいもんだ。

- ★ 感染者や家族に思いやりを
持とう。
- ★ 思い込みや過剰な反応に
よる偏見・差別はやめよう。
 - ☞ 正しい知識と判断を。
- ★ 社会を支えて働く方々に敬意
と感謝を持とう。

もしも、こんな言葉が
あなたに向けられたら、
あなたはどうしますか？

～ 人権を大切にする気持ちと行動が、コロナ禍を
乗り切る力になるはずです ～